



うらないはどうしてできたの

星の動きが人間の運命に影響をあたえる

うらないの初めは、せん星術（星うらない）です。天文学という科学は、じつはこのせ
ん星術から生まれたものなのです。西洋では古代エジプト、ギリシャ時代に、星の動きを
観測して、それが人間の運命に影響をあたえていると考えたのです。

せん星術は科学から離れ、ひとり歩きをするようになりました。14～15世紀になる
と、せん星術師は、予言者としてヨーロッパ各地の宮廷で、とても大切にされました。
17世紀になると、病気や運勢の診断ばかりでなく、お城や教会や役所の建築場所を決める
のにもアドバイスするようになりました。

自分の将来を知りたい、という希望から

近年になって、せん星術以外のいろいろなうらないが盛んになりました。うらないは、
科学的なものから枝分かれしたようなことがらが多いようです。ただ、うらなう人の考え
方や判断力が、影響することが多いようです。

うらないができた理由は、だれにでも、自分の将来の運勢を知りたい、という希望があ
るからです。それを知るために、科学だけでは分からないことを、うらないにたよって判
断し、なっとくするということから、科学だけにたよらない、うらないへのあこがれがあ
るのです。（監修・保岡 孝之）

